

関連写真

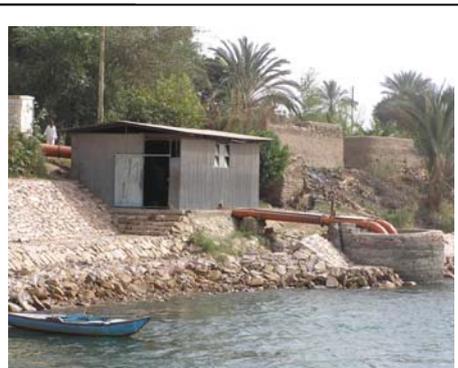
A. ポンプ場更新前



No.30 Gezeret Meneha ポンプ場

ポンプからキャビテーション(水泡による衝撃)特有の破壊音が聞かれ、場外にある吐出管の支持が十分でないため負荷がポンプのフランジにかかり、ポンプ軸がずれ振動の原因になり、十分な灌漑ができない状況にある。(写真左)

吐出管のフランジからの水漏れ、錆び、鉄板を繰り返し溶接した痕跡が見られる。(写真上)



No.32 Gezeret El-Fawaza El-Kelbia ポンプ場

ポンプ、モータは1950年製で、吸水に含まれる砂粒や、吸込性能が十分でなくキャビテーションの影響が重なり、老朽化が激しい。(写真左)

ポンプ場の建造は1950年である。吸水槽内に吸水管が設置され、堆砂を防ぐ対策がなされている。現状では固定式ポンプであるが、フローティング式に改修する。(写真上)

ポンプのケーシング内には水に含まれた砂により、削り取られた形跡がある。(写真下)

B. ポンプ場更新後の状況



No.22 Sahel Alakaba Kebli ポンプ場

第3次で供与したポンプ場で、ナイル川を航行する観光クルーズ船から我が国の協力で更新されたことが明確に解る。



No.4 Sahel El-Kubania ポンプ場

第1次に供与したポンプ場で、適正な維持管理により14年以上経過しても運転に問題はない。



No.4 Sahel El-Kubania ポンプ場

定期的整備により機材の延命化が図れる。ポンプとモータの軸のカップリングにグリースを注入している様子。

C. 農業生産物



さとうきび運搬

受益地でさとうきびの栽培は農家の重要な現金作物となっており、陸路・水路で製糖工場に運搬される。地域内では製糖工場はコモボとイドフに位置している。(写真左)

農業生産

受益地では、さとうきびの他にはメイズ、野菜類、飼料作物、果樹類が栽培され、灌漑用水の安定供給は地域内の重要な食料安全保障に資するものである。